

## 当日プログラム

- 9:30 開館 入場開始  
10:00～10:05 開会挨拶 中瀬 勲（人と自然の博物館館長）  
10:05～10:10 第10回共生のひろばによせて 河合雅雄（人と自然の博物館名誉館長）

### 口頭発表（OP）（発表12分、質疑3分）

- 10:10～10:25 OP-01 ハヤブサの餌メニュー 溝田浩美（ひとはく地域研究員）  
10:25～10:40 OP-02 「六甲山頂・森と歴史の散歩道」づくりの広がり 堂馬英二（六甲山を活用する会）  
10:40～10:55 OP-03 六甲山には何種類のキノコがあるのか？～再度公園の長期観察記録から考える～  
小野高滉・鶴岡脩真・石丸明日菜・阿波田みのり・新保悠里乃・高岡まりあ・  
中村雄太郎（兵庫県立御影高等学校環境科学部生物班）  
(10:55～11:05 休憩)  
11:05～11:20 OP-04 石ころクラブの創設から本年までの活動報告 藤本啓二・松原 勝（石ころクラブ）  
11:20～11:35 OP-05 岡山県津山市の勝田層群から化石十脚類オキナワアナジャコの産出  
岸本眞五（ひとはく地域研究員）  
11:35～11:50 OP-06 砥峰高原に点在する湿原の動植物 正城祐亮（神河町立神河中学校科学部）  
11:50～12:05 OP-07 環境DNA手法を用いた希少種調査方法の確立 木澤祥士・米田創樹・松本 涼  
（兵庫県立農業高等学校生物部）  
(12:05～13:05 昼食休憩)  
13:05～13:20 OP-08 解明！なぜヒシモドキは絶滅するのか？ ヒシとヒシモドキの生存戦略の違いが運命を分けた 吉村真由・渡邊健太郎・平嶋祐大・田村 統（兵庫県立大学附属高等学校自然科学部生物班）  
13:20～13:35 OP-09 トビケラがおもしろい！ 渡辺昌造（ひとはく地域研究員）  
13:35～13:50 OP-10 小河川における底生動物の住み場所に関する研究（種の多様性はどのようにして形成されるのか） 原田裕矢・西 幸夏・黒田有梨・久後地平・藤本昌英（兵庫県立香寺高等学校自然科学部）  
13:50～14:05 OP-11 自然を破壊する「酸性雨」 藪本まみ（伊丹市立天王寺川中学校）  
14:05～14:20 OP-12 兵庫県におけるホトケドジョウ保護のための生息地の造成とモニタリング結果  
國居彩子（丹波地域のホトケドジョウを守る会）  
14:20～14:25 総評 岩槻邦男（人と自然の博物館名誉館長）  
14:25～14:30 感想・コメント 濱田道夫（兵庫県立大学副学長）  
14:40～16:10 ポスター発表 コアタイム  
（展示の部 観覧）  
16:30～17:15 茶話会 各種賞の授与式 歓談

## ポスター発表 (PP) (ホロンピアホール 3F ホワイエ)

- PP-01 イナゴは結構おもしろい 高田 要・薦田佳郎・宮武美恵子・隅野光代・吉田滋弘  
(ひとはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」)
- PP-02 小河川における底生動物の住み場所に関する研究 (種の多様性はどのようにして形成されるのか)  
原田裕矢・西 幸夏・黒田有梨・久後地平・藤本昌英 (兵庫県立香寺高等学校自然科学部)
- PP-03 「六甲山頂・森と歴史の散歩道」づくりの広がり 堂馬英二 (六甲山を活用する会)
- PP-04 環境 DNA 手法を用いた希少種調査方法の確立 久次米 響・生月秀幸・本城将真・岸田周士・  
喜多山友輔・柳瀬 太 (兵庫県立農業高等学校生物部)
- PP-05 宝塚市で子どもたちに自然や生き物のおもしろさを伝える ～しぜんクラブの活動 2014  
稗田 勲・大倉保子・小野恒義・林 光代・岡田義晴・丸山幸子・丸山健次 (しぜんクラブ)  
小島華子 (フレミラ宝塚)
- PP-06 砥峰高原の湿原の環境 代田健人・加門叶多・中本天馬 (神河町立神河中学校科学部)
- PP-07 カブトガニについて 岡 恭佳 (伊丹市立伊丹小学校)
- PP-08 アリの巣の研究 梶田 瑛 (伊丹市立桜台小学校)
- PP-09 氷の溶け方について 小林夏芽 (伊丹市立池尻小学校)
- PP-10 校庭の木にインタビュー ～「自分の木」を選んでみんなでかんさつ  
小野市立小野東小学校三年生
- PP-11 湿地調査～湿地がもたらす自然の宝 足立龍星・冨永つゆか (香住高等学校海洋科学科)
- PP-12 解明！なぜヒシモドキは絶滅するのか？Ⅱ ヒシとヒシモドキの生存戦略の違いが運命を分けた  
吉村真由・渡邊健太郎・平嶋祐大・田村 統 (兵庫県立大学附属高等学校自然科学部生物班)
- PP-13 但馬地域のヒメミズワラビ 林 美嗣 (植物リサーチクラブ・ひとはく地域研究員)
- PP-14 ジオパーク模型 藤本啓二・松原 勝 (石ころクラブ)
- PP-15 多田銀銅山の鉱物 藤本啓二・松原 勝 (石ころクラブ)
- PP-16 「おおばこの会」わたしたちのフィールド ～小野市での活動 2014～  
小林賢二・岡崎聡郎・小田昌代・小林爽子・高田 要・東一文代・西尾勝彦・西田 猛・  
藤本國雄・藤本吉次・松永恵子・山田 登・山本英夫・吉田士郎 (おおばこの会)
- PP-17 フランクフルト国際甲殻類学会 (ICC-8) 大会参加・発表  
丹羽信彰 (神戸市立六甲アイランド高等学校顧問)
- PP-18 高校生の札幌国際甲殻類学会 (IAA & CSJ Joint International Conference on Crustacea IAA 20)  
参加・英語での発表報告 大島暢人 (神戸市立六甲アイランド高等学校 2 年)
- PP-19 プラナリアってベジタリアン？ ～石屋川からの報告①～  
田尻 匡・二四岡麻実・木村 歩 (兵庫県立御影高等学校 GS 環境科学セミナー選択者)
- PP-20 美白プラナリアを追い！ ～石屋川からの報告②～  
梅宮哲平・亀井海沙・木村桃花・左藤 恵 (兵庫県立御影高等学校 GS 環境科学セミナー選択者)
- PP-21 プラナリアの好む石とは？ ～石屋川からの報告③～  
笹尾明裕・小島麻実・高山ふみな・橘 勇志 (兵庫県立御影高等学校 GS 環境科学セミナー選択者)

展示の部（共生のひろば展）（EX）（4F ひとつはくサロン）

2015年2月11日（水・祝）～4月5日（日）

- EX-01 岡山県津山市の勝田層群から化石十脚類オキナワアナジャコの産出  
岸本眞五（ひとつはく地域研究員）
- EX-02 わたしたちの暮らしのなかにある伝統的民家のカ・タ・チ  
ーひとつはく周辺の田園景観と農家の調査からー  
山崎敏昭（ひとつはく地域研究員）
- EX-03 六甲山地の魅力と不思議を伝える仲間たち  
武川雄二（六甲山自然案内人の会）
- EX-04 鳴く虫の決定的瞬間 ～産卵とウンチ～  
西浦睦子・住田鈴子（ひとつはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」）
- EX-05 昆虫たんけん in 篠山  
大塚剛二（丹波篠山自然塾むしクラブ）
- EX-06 三木自然愛好研究会 2014・年間活動報告  
NPO 法人三木自然愛好研究会